

大腸穿孔の治療のため受診中あるいは受診経験のある 患者さんまたはご家族の方へ

臨床研究に対するご協力をお願い

愛媛県立中央病院では、上記の病気で受診された方の検体や診療情報(カルテ情報)を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。

本研究への協力を望まれない場合、研究についての詳しい情報を希望される場合などは、その旨、以下の「問い合わせ先」までご連絡をお願いします。本研究への協力を望まれない旨のご連絡を頂いた場合は研究対象からは除外させて頂きますので、検体や診療情報は利用されず、また他の研究機関への提供も行いません。

【研究課題名】 大腸穿孔におけるDirty massと汎発性腹膜炎・敗血症性ショックとの関連性に関する研究

【研究の目的】

大腸穿孔とは大腸に穴が開いてしまい、便がお腹の中に漏れ出てしまう状態をいいます。大腸穿孔は重篤な腹膜炎を来し、死亡率が10-30%と高率です。どのような患者さんが助かりやすいか、あるいは死亡しやすいかといったことははっきりと分かっていません。今回の研究で術前に検査したCT検査からお腹の中に漏れ出た便の量を計算し、その漏れた便の量と、その後の経過や術前・術後に行った採決結果との関係性を比較することを目的といたします。

【対象となる方】

大腸穿孔の患者さんで、2016年1月1日から2020年12月31日の間に大腸穿孔の手術を受けた方

【使用する検体・診療情報】

カルテ情報: 診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果(血液検査、画像検査)手術記録

【研究期間】 臨床研究審査委員会承認日から2023年3月31日

【個人情報の取扱い】

使用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

愛媛県立中央病院

消化器外科 医長 石川 大地

【問い合わせ先】

松山市春日町83番地

愛媛県立中央病院

消化器外科 医長 石川 大地

電話 089-947-1111 FAX 089-943-4136